



杉谷ひろば

杉谷さんとともにまちを創る会
2018年 10月 1日発行

10月号 向日市上植野町西小路3-4
No. 92 杉谷ひろば(連絡先は頁下)

市民参加でまちを変えよう！ ホームページ：<http://sugi.pupu.jp/>

向日市議会 報告特集

市民生活支える福祉行政を 台風災害の経験、巨大災害への備えに



杉谷伸夫・63才
向日市議会議員・無所属
上植野町イトーピア在住

8月27日から9月18日まで、向日市議会の定例会が開催されました。

私は、この間の国民健康保険料の値上げや、保育所待機児童対策の遅れなど、市民の生活を支える福祉が後退していることを指摘し、方針の見直しを求めました（3面参照）。

個別の課題では、特に以下のことを主張しました（2面参照）。

①長年の市民要求である西向日駅前の整備や、コミュニティ・バスが遅れていることに対し、公共交通事業者との協議を詰めて、今年度の実施を行うこと。②保育所待機児童の解消は、向日市の最重要課題の1つであること。子育て世代に対する向日市の義務を果たすため、保育士確保に全力をあげることに。

この間、6月の地震、7月の豪雨、9月の台風21号と、立て続けに大きな自然災害に見舞われました。向日市は他の地域と比べて比較的被害が小さかったとはいえ、特に台風21号では非常に多くの市民の皆さんが被害を受けられました。全て修復するには何年もかかると聞いています。今回の災害を経験された市民の皆さんの声を、やがて来るであろう巨大災害に備えるために生かしていかなければと思います。（9月20日・杉谷伸夫）

自民党総裁選:安倍3選 改憲の国会発議を止めよう

9月20日、自民党総裁選挙で安倍晋三が3選された。これで安倍首相は秋の臨時国会に憲法9条改悪案を提出し、国会発議に突き進みたい考えだが、民意を無視した暴走を許してはいけない。

JNNの9月の最新世論調査では、臨時国会に改憲案を提出するという安倍首相の考えに「賛成」26%、「反対」53%と大差だ。憲法に自衛隊を明記することにも「支持する」39%、「支持しない」47%だ。国民は安倍改憲を支持していない。権力者の暴走を止めないと日本の民主主義は死ぬ。

取り組みのご案内

- 10/13「市民参加でまちをつくる会」
(土) 時間：10:00~12:00
会場：寺戸公民館・2階小会議室
- 11/10「市民参加でまちをつくる会」
(土) 向日市まつりへ準備など
時間：10:00~12:00
会場：寺戸公民館・2階小会議室
- 11/17-18 向日市まつり出展予定
(土-日)

連絡先

ご相談はまずお電話を！ TEL 090-8384-5984(携帯) FAX 075-921-4101
メール peace@fa2.so-net.ne.jp ホームページ <http://sugi.pupu.jp/>



杉谷伸夫の

議 会 報 告

一般質問より

向日市議会の9月定例会で私が行なった一般質問と答弁の一部を報告します。

西向日駅前整備 市と鉄道会社の責任で早く実施を

問：西向日駅前の整備は住民の長年の要求だが、一向に進まないのは、行政と鉄道会社両者の責任だ。何が問題になっているのか。一刻も早い実現を求める。

答：阪急電鉄とは西向日駅の課題について認識を共有できた。(用地・物件等の)補償金額について、向日市が法令に基づき算出した額と阪急が算出した額に隔たりがあり、現在阪急電鉄の経営判断を待っている状況だ。協力するとの回答があれば全力をあげて来年3月31日まで事業を完了させる。



西向日駅前。今回はまず西口側を整備予定。

コミュニティ。バス 走らせるための詰めた協議をせよ

問：コミュニティ・バスは、パブリックコメントまで行ったのに、バス事業者が運行を引き受けずに暗礁に乗り上げている。何としてもバスを走らせる為、詰めた協議をしてほしい。

答：「何としても走らせたい」思いは市民の皆様と同じである。課題は、運転手不足と既存バス路線への影響であることが明らかになっている。交通事業者に対して粘り強く交渉を重ねる以外に道はない。最大限努力をする。

保育所待機児の解消 向日市の最重要課題の1つだ!

問：向日市では今年度当初に百名近い待機児童が生まれた。かつて無い非常事態だ。市長はこの問題を向日市の最重要課題の1つと考えているか？

答：そのように認識している。平成27年度当時より保育所定員を1050名⇒1268名に拡大し、急激に増大した保育ニーズにも迅速に対応し、最大限の努力をしてきた。

問：待機児童の現状と来年度の見通しは？

答：9月1日時点の国基準待機児童数は82人である(今年4月1日では72人)。来年度の待機児童数は保育士の確保が困難な為、現状と同等もしくは若干増加すると予測する。

※最重要課題と認識しているなら、しっかり予算をつけて取り組むべきです。待機児童が増加することは許されません。

防災対策

現実的な防災マップに改善を

問：今年の地震・豪雨災害の経験から、現在向日市で優先的に進めようとしている防災対策は何か？

答：向日市域では桂川の氾濫で大規模な災害が発生する可能性が低いと想定でき、土砂災害への対策を優先的に進める。市内14カ所が急傾斜地、うち13ヶ所が土砂災害警戒区域。対策工事の予算確保に努める。

問：桂川の氾濫想定時に、現実的な避難方法がわかるよう防災マップの改善を!

答：国の「浸水ナビ」を活用し、今年度改訂する防災マップに反映する。

公文書は西暦に

問：来年5月から元号が変わる。元号は連続性がなく実用上に不都合がある他、民間企業をはじめ日本社会では西暦表記が一般的になっている。改元を機に、向日市の文書も西暦表記を基本にしてはどうか？

答：国は各省庁や自治体の判断に委ねている。国のデータシステムでは西暦に統一するが、書類関係は元号を継続すると聞いている。(⇒結局、検討しないということ。)

私は、向日市の2017年度会計決算に対して反対しました。その理由のいくつかを紹介します。

①市民のための福祉が後退している

市民の5人に1人が加入する国民健康保険に対する市独自の補助を一切廃止し、3年間で17%以上の保険料の値上げに踏みきました。経済的に苦しい世帯への配慮が無くなりつつあります。

子育て支援では、3ヶ月に近い保育所待機児童を生み出しました。非常事態です。来年度は更に増える見込みといます。待機児童解消は重要課題であり、了解することはできません。

福祉予算の節約は、JR向日駅周辺整備をはじめとする駅前開発など多額のお金を要する事業を進めたいからでしょうが、市民生活の方が先です。

②議会と市民への説明がおろそかになっている

JR向日町駅関連の整備については、駅ビルをつくるとの報告書が出てから1年以上経ちます

地震・台風災害で追加予算

- 小中学校の危険なブロック塀をすべて撤去
- 公道に面した個人宅の危険なブロック塀撤去に一部補助
- 台風21号による公共施設の被害対策に1億1千万円（特に学校施設の被害大）

※今回の台風では多くの市民が、瓦が飛んだりアンテナが壊れたりなど様々な被害にあわれました。いつ修理できるかわからない状態です。しかし法的な支援があるような大きな被害情報は届いていないとのこと。

国への意見書採択

杉谷議員ら提案の意見書を可決

- ①核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書
- ②待機児童解消にむけて子育て支援制度の充実・改善を求める意見書（幼児教育・保育無償化による需要増に対応できる施設・保育士

が、具体的な内容が一切わかりません。決算の機会に市長がしっかり説明すべきです。更に次は洛西口駅西側も開発を進めるといいますが、1つ1つ議会に報告し、検証し、着実に進めるべきです。

老朽化した第2保育所を閉園し、民間保育所を建てる予算を議会は承認しましたが、議会も知らないうちに、この保育所に学童保育の併設が決め

られました。またこれまでの学童保育と随分違った異質な内容だということが最近わかりました（下の記事）。こうした進め方は、今後は改めて頂きたい。

（杉谷伸夫）



1ランク上の学童保育？ 「もずめクラブ」

来年4月に第2保育所の代わりに開所する民間の「もずめ保育園」の一角に、向日市で初の民間の学童保育「もずめクラブ」（定員40人）が開所します。市内の小学校に1つづつある従来の学童保育と随分違う内容であり、1ランク上のような異質な学童保育を、向日市が場所を提供して開設するのは問題だと思います。

- ・市内全域を対象（下校時等バス迎え有り）
- ・延長利用：夜8時まで（夕食有り）
- ・英語・アトリ工創作なども
- ・料金：一律（詳細未定、2万円程度？／内容により追加料金）：公立は上限8千円

確保と保育士待遇改善のための財源確保、保護者が希望すれば育児休業を2歳まで延長できるように制度改正を求めることなど

<賛成した議員>（無所属）杉谷（共産）常盤・山田・北林・丹野・松山・米重（MUKOク）太田・近藤・和島（社民）飛鳥井

<反対した議員>（新政ク）天野・上田・小野・清水（公明）富安・長尾・福田（維新）村田

※太字は提案者

中畷哲演さんをご存じですか？

安野 洋子

2011年の福島原発大災害の次の年、福井市で原発反対の大集会が開かれ、デモもした。その時以来、久しぶりに中畷哲演さんの講演を聴いた。1970年以降、私は何回哲演さんの話を聴いたのだろうか。その頃、YWCAの会員として活動していたが、「核否定の思想に立つ」というYWCAの宣言の下に、再々哲演さんの話を聴いた。哲演さんは小浜の国宝・明通寺の住職でありながら、反原発の先頭に立って活動している方である。若狭は「原発銀座」と呼ばれているが、小浜だけは原発関連施設をもたない。しかし原発に隣接する土地として、市民は事故の可能性、放射能の日常的汚染の「核の危険」にさらされている。反原発の「生き字引」として活動されている哲演さんの根底には、仏教者としての強い姿勢があるのだ。

ブッダの思想が述べられている本「真理のことば」（岩波文庫）の中から取り上げながら、そのことばの中に、現在我々が生きる指針があることを強く語られた。生きるものすべて「殺してはならない」「殺されてはならない」と。民主主義の大義名分の下で、殺りくと破壊がなされたが、命は愛おしいものとして「生老病死」を基本に考え直すことで、人間は自然の中に生きる小さな存在だと言うことを自覚することの大切さを語られた。台風・地震・津波など自然災害は避けられないが、原発は人災である。人間が造りだした「核」によって苦しめられている我々の姿がある。日本は原発を止められないだけでなく、国連の「核兵器禁止条約」にも署名していない。アメリカの核の傘の下にいるからとして。



悪くなる一方の政治状況の中、また安倍政権が3年延びるようだ。世論の多くは支持していないのに、情け無いような何ともいえない気持ちになるのは私だけだろうか。

悪くなる一方の政治状況の中、また安倍政権が3年延びるようだ。世論の多くは支持していないのに、情け無いような何ともいえない気持ちになるのは私だけだろうか。

膨張する日本の軍事費

また史上最高額を更新！
防災部門費は削減！

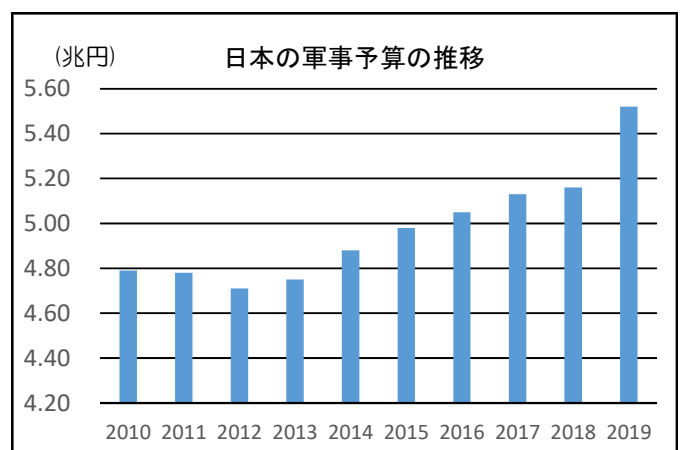
日本の防衛予算が、安倍政権の下で毎年史上最高額を更新しているのをご存じでしょうか。来年度の概算要求額は5.3兆円ですが、例年計上している費用を除外しているので実質は5.5兆円以上。国民1人当たり4万4千円、**4人家族なら何と年間約18万円も負担**することになるのです。

一方、誰もが切実と考える**防災部門概算要求は防衛予算の8分の1の6920億円で、なんと前年度から270億円もの削減**です。消防庁の予算は、わずか173億円。安倍政権の下でふくれあがった軍事費を元の水準に戻すだけで、年に約8000億円が生まれ防災関係費を倍増してもお釣りがきます。

今、朝・韓・米の首脳が直接話し合い、朝鮮半島の非核化と朝鮮戦争の終結宣言へと、平和のた

めの努力が続けられています。もちろん駆け引きもあり、今後に予断を許しません、少なくとも米朝の挑発合戦は止まり、非核化と平和体制づくりをどう進めるかの話し合いになっています。

こうした中での空前の軍事費増強は全くの無駄であり、時代の流れに反します。安倍首相は、朝鮮半島をめぐる歴史的な局面で、何の積極的役割も果たさないばかりか、平和への努力に逆行する政策をやめるべきです。



2019年度は概算要求額（前年度までと比較できる実質額）